

のぐち英一郎 ニュース

NOGUCHI EIICHIRO NEWS

困ったときに、一人にしません!



平等 公平 公正ってなんだろう

お年寄りには手すりを、車イスの方にはスロープを、子どもには階段を作って、初めてみんなで美しい景色をみる事ができます。一人ひとりのニーズにぴったりのサポートがあって、ようやく機会の平等が生まれ、不公平がなくなる。それが福祉だと考えます。

のぐちはやさしい福祉のまち 鹿児島市をつくりま



この4年間も身寄り問題や社会的な孤立で、困り果て、疲れ切った方のご相談を多数頂いています。困り事には、行政のあり方を変えることで根本的に解決できる共通点が見つかることでもあります。そのためには議会質問で行政の方にご理解と共感と納得をいただくことが必要です。毎議会に私の基本方針である公正や機会の平等、未来責任感情論ではなく事実とデータに拠る複眼思考で登壇しています。

※2ページからその成果と今後をご紹介しております

2020年、市政131周年の鹿児島市では47年ぶりに国体が予定され、市内各地では官民の大きな施設整備が進んでいます。人口減、超高齢の進行、自然災害の頻発、高度情報化の社会で大切な税金をどのように使うことが、安全安心で快適便利を持統するまちづくりにつながるのでしょうか？

それら難題への答えとして、今期は3つの公約

- 身を切る大改革
- 貧困のない健康長寿のまちづくり
- 人と自然と雇用と景観を守る公共事業の推進

子育て支援センター(5カ所)を廃止しないで!

お母さんたちと署名集め! 10834筆!

突然の市による子育て支援センター廃止の決定。悩んだお母さんからメールをいただき、即行動。存続に向けて市議だからできることを全部やります!

支援センターの院

2019年末の議会では①子育て支援センター5カ所廃止問題

- ②パワーハラスメント
- ③市営住宅抽選に何十回も当たらない問題
- ④バス停をクルクルマップに表記
- ⑤利用者目録のサンエール改善を質問しました。

特に子育て支援センターの大問題は、8月から5カ月を超えて取り組んでいます。10834人の署名と森市長との直接対話で年度末廃止撤回を実現しましたが、まだ道半ばです。引き続き皆さまのお力を貸して下さい!

28歳で初めていただいた議席から20年たち猪年で48歳になりました。「市役所・すぐやる課ののぐち英一郎」と冗談も言われるほどの行動力と質問力そして政策提案力で、これからも東奔西走お役に立ちます!

これからの
のぐちの政策提案 「10年以内実現」を目標に
これからも市民のために走り続けます



1 困ったときにひとりにしません! 手あついまちへ

お年寄りの一人暮らし、子育ての不安、DV、不当な解雇、パワハラ、引きこもり、身寄り問題だれも孤立させません! 議会の内外で解決しています。

- 1 身寄り問題や社会的孤立の予防策としてケアつきアパート(ビジネスモデル)や互助会の推進を
 - 2 段階的にでも小中学校の給食の無償化とオーガニック給食の推進(子どもたちの食の安心安全。有機農業推進のため給食に、県産・有機産物の食材を積極的に導入)
 - 3 子育て支援センター増設(中学校区にひとつずつを目指して)
 - 4 学校で使用する文具購入品の絞り込みと一括購入貸し出しで親の負担減
 - 5 若者に抱えきれない負債を背負わせる現在の奨学金制度を廃止。県立短期大学を四年生大学へ(卒業後鹿児島で未来を担ってもらえる若者に市の補助による返済不要奨学金)
- 困った時の窓口となる市職員に精神的にも追い込まれている方とのコミュニケーション研修受講を
 - 多量対策に街中、バス停、電停にベンチのある屋根付き停留所整備
 - 全国的に激務で人員不足の児童相談所。新児童相談所のために財源、人材育成、建設場所、一時保護等 提案を重ねる
 - バス、タクシーの買い物サポートチケットの配布
 - 感染症や望まない妊娠を予防するための性教育充実
 - 健康促進のため小中学校プールの地域開放
 - パーキングパーミットの適正使用と当事者が本当に使いやすいパーキング環境の充実

2 よりよい税金の使いみちへ 暮らしの質を上げながら街をうまく縮めていく

- 1 ワーキングプアを作らない。地元でお金の回る仕組みを! お金と健康を生み出す「断熱リフォーム」を推進
- 2 最低賃金アップ! 保育、介護職の給与大幅改善
- 3 もっと遊べる憩える公園をつくろう! ベンチあふれる街づくり
 - スケートパークやBMX、スポーツライミング、球技などが楽しめる
 - お母さんたちが読書、読書でも子どもを連れて遊びにいける屋内施設も併せ持つ公園
- 4 就職希望の希望者と地元をつなぐ中間支援の推進
- 5 リカレント教育(就労に活かすために学び直した就労するというサイクル)や有償インターンシップの推進

- 観光都市として市営バス改革
 - ① 交通系ICカードの導入を!
 - ② バス停をもっとわかりやすくレイアウト再編+バス運転委託の待遇とアナウンスを改善
 - ③ 桜島や離島交通への利用しやすいバスルート
- 老朽化した産物、道路、水道管など早めのメンテナンスで長期使用を可能へ
- 鹿児島市施設の予約はネットでの手続きを可能に
- 図書館・科学館との連携イベントを図書館カフェを軸に開催
- 新ハコモノ基準(ゼロエネルギー)の徹底

3 災害に強く自然と共存する街づくり 人・自然・雇用・景観を守る公共工事をすすめます

- 1 げけ地(土砂災害警戒地域)3267カ所総点検提案。5万6千人が暮らすげけ急傾斜周辺対策は経費1100億円かけても行う
- 2 千葉の大停電に学ぶ。避難所整備
 - 福祉施設、住宅、エレベーターが使用不可能時の対策
 - 高断熱化とバリアフリー エアコンとテントでできるだけ過ごしやすい環境を整え二次災害を防止
 - 災害時の多言語 対応の充実
- 3 エネルギー成分表示制度…自分の使うエネルギーはどの発電所に由来しているのか成分表示制度を推進 再生可能エネルギーで経済が動く仕組みづくり
- 4 川内原発が廃炉になるまでは毎年 全員での避難訓練を行う



4 平和、公正、多様性 (国際・多文化/LGBTQ 配慮・SOGI 教育・差別のない社会) 自ら考えて動く・ふるさとを大切に・多様性を尊重できる人を育てて支えあう

- 1 文化芸術
 - 振興や自主文化事業はみんなが楽しめる企画を公募へ
 - 文化芸術施設の責任者を公募へ
- 2 SOGIに基づく人権教育
- 3 無料のパートナーシップ制度づくり
- 4 同一労働 同一賃金
- 5 外国人の相談窓口や日本語教育など生活者としての支援環境充実
- 6 歴史と伝統を踏まえて自然環境や景観を大切に保全
- 7 就職氷河期当事者として支援強化

★実現した鹿児島市 県 ホームページ選挙公報。今後は4年間 掲載存続を目指す

人を想うチカラ。まちを想うチカラ。

なかなか良くならない世界に対し、批評家ではなく、信念を行動で示す議員になりたいと願った初心は今も変わることはありません。政策提案と行動力で未来にも責任をもてる市政を目指します。

困ったときにひとりじゃない！手あついまちへ

お年寄りの一人暮らし、子育ての不安、DV、不当な解雇、パワハラ、引きこもり、LGBTQ(性的少数者・SOGI教育)だれも孤立させません！議会の中外で解決しています。

美現 こんなこと実現してきました

- 「よろず相談」2000件を達成！
- 県道改修から子育て支援センターまで幅広く
- 鹿児島市子どもたちの生活実態調査を実施！
- 2019年の選挙時に福祉課の初開校を実現！
- バリアフリー車庫建設
- 子どもたちの通学力ハンデを克服、防犯・救急の対応迅速化を実現
- 産後ケアのメニューを充実
- 就職氷河期世代の生活困窮を全開支援
- ★高齢者の普及啓発
- ★引きこもりの個別訪問事業実現
- ★一人暮らしの高齢者緊急通報システム提案実現
- ★介護予防のため公園への健康遊具の増設実現



- ★カラオケと健康推進
- ★高齢者や障がいがある方など交通安全啓発として
- ★小児車庫移動や移動販売
- ★市営住宅入居に際し入居前チェックを実施することで車イス利用市営住宅以外でも住宅入居可能へ改善

よりよい税金の使いみちへ

時代に合わない無駄遣いをチェック20年！

美現 こんなこと実現してきました

- 市議会議員定数50人を45人へ自ら身を切る！
- 議員年金を廃止実現
- 光ファイバー普及を促進
- 内部留保により納税者負担増を抑制
- ※30年間にわたる3億円の使途を細かくチェック
- 合理化と適正化実現
- 植物ごみ資源化モデル事業、生ゴミ製水資源提案
- ★建設の光熱費電力入札の導入で経費削減
- ★コンビニエーターシステム導入を合理化し減額15年間で約10億5千万円削減
- ★毎年5千万円の美術品購入を見直しし減額13年で約9億円削減



- ★美術館の運営を見直し経費を削減
- ★4年間で約3億円の削減
- ★子ども食堂主催者が加入する行事用保険助成を推進
- 2017年実現
- ★新居の安全と活用を提案
- 2019年及び有人圏へ
- 市施設をチェック！もつと使いやすく
- ①トイレ
- 鹿児島市が「しまごと」で必須「トイレレットペーパー」設置を実現
- ②DJイベント、テント芝居、スケボー体験へ使用可能に
- ★九州初の大学内投票所やよかセンター、ショッピングモール投票所を実現
- かんまち
- ★火災防止テント部分で調理する条件を消防局に提案し実現



人と自然を守る！災害にそなえるまちづくり

災害に強いまちづくり、時代に合った公共事業をすすめます。若竹川内原筋は開拓に！

美現 こんなこと実現してきました

- 地盤状況化マップ作成を完了
- 40万所の避難所を多量に対応スタート！
- 学校の太陽光発電にコンセント設置実現！
- 夏場の20年延長ストップ、3号線白紙撤回！
- 廃炉事業へ転換を目指して
- ★原発、火力による大容量発電所から太陽光、ガス、バイオマス、水力発電
- ★効果の良い再住 可能エネルギーの小規模分散の街づくりへの転換を提案
- ★適合災害のシミュレーションの下、全市民避難訓練実施
- ★現状での被ばく軽減のため「L10」素型配布をスタート
- ★原発事故や天災の情報を一手にかつ迅速に提供



- ★LINEやメールで地域の災害関連情報提供を実現
- ★災害時と避難生活のために家庭用雨水タンク5400個設置実現
- ★校舎の噴火対策と避難所の環境向上を市に提案
- ★鹿児島県の食べ物は鹿児島県の店で、地産地消を推進
- ★造り加工や、農業に資する技術の活用を提案
- ★大規模法伐採と文化財保護の連携提案実現

平和でフェアな多文化共生社会へ

多様な価値観が尊重され、文化技術があふれ、差別暴力のない平和な鹿児島をつくりたい

美現 こんなこと実現してきました

- 機会コネ人事にストップ！
- 「全国公募」を実現
- ※2017年度にも
- 同僚が再婚し個人買回にて買戻し全面公募を実現
- 公文書 性別記載欄廃止
- ※法改正と記載が不可欠なものを除く
- 東ちなが公園整備
- ※パブリックコメント前に鹿児島公募へ
- ※タカノフナ跡地に計画中の「まちなか図書館」パブリックコメント前に鹿児島公募を実現
- 無料学習支援
- LGBTQ問題
- パートナーシップ制度を提案！



- 自分から考えて動く。ふるさとを大切に。多様性を尊重できる人を育てる
- 「青少年の買戻し」事業
- ※広報周知の改善までのごもたちへの機会の平等と事業の拡充提案
- 中学、大学で主権者教育について特別授業実施
- 主権者教育の一環として学校で市議会たよりを導入実現
- 住民票が実家にある大学生のうち、その地域の選挙に投票できる学生、できない学生がいることの二重標準の解消を提案。現在 国へ申し入れ
- 九州初大学キャンパス投票所設置
- 鹿児島市ホームページで選挙公報の掲載実現
- 外国人依存増加率全国3位の鹿児島で、外国人の相談窓口や日本語教育など生活支援としての支援環境を充実

こんな活動しています！

- 独立・生活者** ビッグイシューがこしま、毎週の炊き出し、月イチ夜回り、フードドライブ、つながる相談会、子ども食堂、もったいないからつなげようプロジェクト(学用品リユース)、認知症サポーター
- 教育対策** 甲斐川ウォッチング、ママと子どもを放射能から守る会、3・11さよなら原発実行委員会、鹿児島SDGsスタートアップフォーラム bySELF 参加、有機農業取組員のちのまつり、アースデイがこしま
- 平和・文化・多文化共生** 鹿児島コミュニティシネマ理事、つくる学校、フラワーデモ参加、まちづくり65ニュース



税金をフェアに必要なところに！一人ひとりが主役の鹿児島市に！



よろず相談 市民の方の個別の相談。いつでもお受けしております。プライバシーは必ず守ります。安心してご相談ください。

- 生活保護の申請
- 家庭、地域、職場での困り事
- 地域での難しい事
- 在住外国人の生活相談(英語対応)など